



2019年2月18日

各位

会社名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン  
代表者名 代表取締役社長 ティモシー・ハンシング  
(JASDAQコード: 3350)  
問合せ先 取締役 CFO 王生 貴久  
電 話 050-5835-0966

**特別利益、営業外費用の発生および  
2018年12月期と2017年12月期の実績値の差異に関するお知らせ**

当社は、2018年12月期通期連結決算を確定する過程におきまして、営業外費用及び特別利益を計上することになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、当社は、業績予想を発表しておりませんが、東京証券取引所上場規定第405条第1項の規定に則り、2017年12月期（2017年1月1日～2017年12月31日）の実績値と本日開示しました2018年12月期（2018年1月1日～2018年12月31日）の実績値の差異についても、合わせて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益の発生とその内容

当社は、2018年3月16日付でセールスアンドリースバック取引を実行し、浅草、沖縄、名古屋で当社が保有していたレッドプラネットブランドのホテルを売却いたしました。その結果、当該ホテルの土地及び建物に係る信託受益権の売却に伴い、当社連結決算において、固定資産売却益約1,219百万円が発生いたしました。2018年5月15日発表の「開示事項の経過・変更）ゴールドマン・サックスとの不動産セールアンドリースバック取引に係る信託受益権譲渡契約及び建物賃貸借契約締結、特別利益並びに特別損失の計上に関するお知らせ」において固定資産売却益を1,251百万円とお知らせいたしましたが、今回の約1,219百万円との差額は固定資産売却時の報酬、手数料の内土地・借地権相当分32百万円を固定資産売却原価に算入したためであります。

2. 営業外費用の発生その内容

金融機関からの借入およびセールスアンドリースバック取引に伴う会計処理により、

当社連結決算において、支払利息約 116 百万円を計上しております。

海外子会社に対する貸付金を期末日レートにて換算をした結果、当社連結決算において、為替差損56百万円を計上しております。

### 3. 前年度対比 実績値の差異について

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
2017 年度実績値 (A)	1,215	25	99	314
2018 年度実績値 (B)	1,736	△156	△318	252
増減額 (B-A)	520	-	-	△62
増減率 (B-A) /A	42.9%	-	-	△19.9%

### 4. 差異の理由

売上高及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、ほぼ安定して推移いたしました。セールスアンドリースバック取引による減価償却費やリース料の支払いが新たに約 253 百万円発生したことや、タイホテル事業取得の準備にかかる費用約 41 百万円、組織体制強化に伴う追加人件費約 20 百万円、そして新規オープンしたホテルの運営費（原価以外）152 百万円、などの販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益及び経常利益が前年度を下回る結果となりました。詳細につきましては、本日公表いたしました「2018 年 12 月期決算短信」をご参照ください。

以 上